

ウェブサイトと繋がり、コミュニケーションも広がる

## スント クエスト・ランニングバック

もはやブームを通り越して、文化として定着したともいえる「ランニング」。それと共に求められるもののレベルもどんどん高くなっている。そんな中で昨年秋、登場して注目を集めているのがスントクエスト。果たしてどんなものなのか。アメアスポーツジャパン広報部・成瀬秀樹氏に話を聞いた。

「時計ではなく、計測器である。それが、スントの理念です。スントは1936年にフィンランドで創業、今年で76年目となります。コンパスをつくったこ

とから始まり、ダイビングや軍用の計測機器などを作ってきました。2004年にトレーニング領域の市場に参入し、昨年秋、スントクエストを発表しました。クエストは腕時計でありつつ、心拍計など多くの機能ももっています。ヨーロッパでは（特にドイツ、フィンランド、スイス）トレーニングをするとき、心拍数の計測を取り入れている率が全スポーツ人口の30%とされています。それに対し、日本はまだわずか3%。しかし、近年のランニング・ブームと共にラ

ンナーの意識も高まり、おかげさまでクエストもいいスタートを切らせていただきました」

計測器というと、難しい操作が必要で、機械に強くないと使いきれないのではないかと尻込みする人も多いと思われるが、3つのボタンで簡単に操作できるのがクエスト。それでいて、驚くべき機能を使うことができるのだ。

「画面をタップする（叩く）ことでラップ（区間タイム）を刻めるタップ式ラップタイム機能を搭載しました。これは日本の特徴なんです。例えば皇居を1周するとか同じところを走る方が多く、この機能があればタップするだけで簡単なので、スムーズに区間タイムを知ることができるんです」

また、Movescount.comという独自のサイトにつながり、さまざまなことができる。

「クエスト本体に記録した自分のデータをこのウェブサイトで管理・ダウンロードすることができ。そして、その情報を他の方と共有することもできるんです。MyやFacebookのようなSNS機能を持っているのは、スントだけ。すでに、知り合った仲間や東京マラソンに出られるとか、婚



スントクエスト・ランニングバック (オレンジ)  
価格 32,550円 (税込)  
問い合わせ: <http://www.suunto-japan.jp/quest/>

を通じた婚活ランニングも行われているようです(笑)。スポーツのコミュニケーションサイトとして定着して欲しいと思いますね」

恋人同士や家族で購入してお互いのデータを共有するなんて使いたい方も進んでいきそう。

「Movescount.comを活用して目的に応じて作成したトレーニングプログラムをクエスト本体へダウンロードすることもできます。また、表示部分を自分が表示したいデータにカスタマイズすることも可能です。例えば『ピッチと心拍数』にするとか、『距離と消費カロリー』にすることで、トレーニング中のボタン操作の軽減に役立ちます」

その表示画面を含め、素敵なデザインだがそこにもスントの理念があった。

「どんなデザインであっても表示部分は円形にする。これはコンパスをつくっていた歴史から来ています。見やすくなければいけない。その究極が円なんです。直径、外周も何度も検証して、いまのサイズになっています」

こだわりの計測器をつけてランニングをする。そんな文化が日本でも定着していきそう。